



「瀬戸内国際芸術祭 2013」開催に伴う経済波及効果

1. 試算結果

「瀬戸内国際芸術祭 2013」(以下、「今回芸術祭」という)は、瀬戸内海の島々を舞台に開催する現代アートの祭典であり、今回芸術祭は、2010年の初回に続く2回目の開催となる。

今回芸術祭は、2010年の第1回会場(高松港周辺と7島(直島・豊島・女木島・男木島・小豆島・大島・犬島))に、沙弥島(春会期のみ)、伊吹島(夏会期のみ)、本島、粟島、高見島(秋会期のみ)、宇野港周辺が追加となった。また、期間設定は、第1回が7/19~10/31の105日間であったのに対し、今回芸術祭は3会期([春シーズン]3/20~4/21(33日間)、[夏シーズン]7/20~9/1(44日間)、[秋シーズン]10/5~11/4(31日間))の108日間となっている。

(株)日本政策投資銀行および実行委員会で、芸術祭の来場者による県内消費額などから経済波及効果を試算したところ、約132億円となり、第1回の約111億円に対し、21億円(19%)増加となった。

	経済波及効果			
		直接効果	1次波及効果	2次波及効果
全会期	132億円	77億円	29億円	26億円
(春会期)	(27億円)	(16億円)	(6億円)	(5億円)
(夏会期)	(59億円)	(34億円)	(13億円)	(12億円)
(秋会期)	(46億円)	(27億円)	(10億円)	(9億円)

直接効果：芸術祭の来場者による県内消費額等から、財・サービスの調達を県外に頼らざるを得ないなど、県外に消費が流れる部分を控除したもの
1次波及効果：直接効果によって県内各産業の生産額が増加した額
2次波及効果：直接効果及び1次波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、県内各産業の生産額が増加した額

(主な前提条件等)

実行委員会が期間中に実施したアンケート結果や各会場へ向かう航路の乗船人数推計値等を踏まえ、以下の通り推計。

○客数：総来場者(107万人)をもとに、1人の来場客が複数の会場を訪れている影響を調整し、試算の前提となる客数を30万人と推計。

○消費金額等：下表のとおり。

	県外・宿泊	県外・日帰り	県内・宿泊	県内・日帰り
構成比	43%	23%	1%	33%
1人あたり消費金額	41,870円	14,529円	31,762円	14,899円

波及効果は、平成17年香川県産業連関表を用いて算出。

2. 今後、経済効果等をより大きなものとするために

今回芸術祭にて認識された成果と課題を、「観光振興・交流人口拡大」、「地域の活性化」の視点から以下の通り整理した。

		今回の成果	今後の課題
観光振興・ 交流人口拡大	瀬戸芸ブランド の浸透	・瀬戸内国際芸術祭の認知度が更に浸透し、国内・国外からの来場者が増加した。	・関心の高まりをテコに、多様な魅力を発信し、ブランドの一層の浸透、更に何度でも来てもらうための継続的なプロモーションを展開していくことが重要。
	島の魅力 のPR	・展開する「 <u>アートの魅力</u> 」と瀬戸内の島を舞台とした「 <u>他にほない楽しさ</u> 」を提供することで、高い満足度と魅力(=非日常の体験)を実現した。	・地域に根付いた既存資源(文化・環境など)の再評価・再認識を一層進めつつ、芸術祭後も継続展示されるアート作品なども活かした幅広い新たなファン層獲得のための仕掛けづくりに取り組むことが重要。
	地域住民等による受入体制の整備・充実	・ <u>地域住民等の持つ「おもてなしの心」</u> が、会場である島の中で、「食」や「宿泊」の分野などに発揮。	・継続的取り組みとなるよう、島しょ部と本土側との連携など幅広い地域関係者の参画により「 <u>連携関係</u> 」を継続させるとともに、民間団体や企業と連携するなど多様な主体との「 <u>協働関係</u> 」を図ることが重要。
地域の活性化	地域の 元気・活力	・地域住民がアーティストや来場者との交流を通じて「 <u>眠れる地域の宝</u> 」を再発見し、地域内・外の新たな交流の輪が広がることで、島民の島への関わり方が変化し、 <u>将来に対する意欲</u> が生まれ始めた。	・芸術祭の開催を契機に、島々で生まれた地域の誇り(自信)や元気に、具体性・実効性をもたせるため、外部資源活用の促進も含めた「 <u>面的な拡がり</u> 」・「 <u>シナジー効果(相乗効果)</u> 」を促進する地域支援に取り組むことが求められる。
	新たな活力の 場の創造	・海外からの参画によるグローバル色と地域住民参画による地域資源を活かしたローカル色がバランスよく融合し、瀬戸芸としての独自色が醸成されている。	・芸術祭をきっかけとした国際的な「 <u>賑わいの場</u> 」創出と国際的舞台に相応しい環境を整備していくことが求められる。

- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：(株)日本政策投資銀行・瀬戸内国際芸術祭実行委員会と明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、(株)日本政策投資銀行・瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局までご連絡ください。

(問い合わせ先)

株式会社日本政策投資銀行四国支店 企画調査課

〒760-0050 高松市亀井町5-1 百十四ビル14階 電話：087-861-6676

瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局

〒760-0019 高松市サンポート1-1 高松港旅客ターミナルビル6階 電話：087-813-0742